

## 防災リーダー養成講座でお話をしました

愛知県安城市で、防災リーダー養成講座が開催されています。連続の講座の初回に「普段の心得」についての、講師を務めました。

### ☆講演といっても、やはりワークショップ

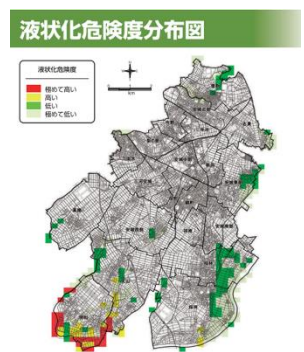
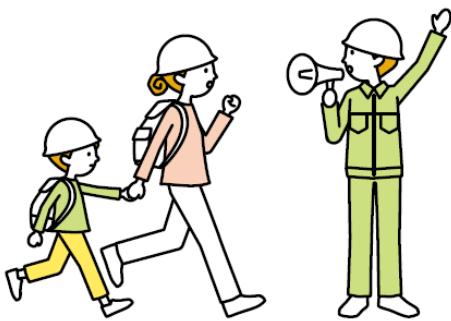
80分という時間をいただきましたので、グループワークを提案しました。すると、実は、去年の参加者から「聴いてばかりでは、つまらない」という感想があったそうで、ワークショップ形式でできるなら、ぜひ！と歓迎されました。

### ☆ワークショップとなれば！

「いざというときに、あなたご自身は何をしますか？」「いざというとき、普段から何を考えたり、何をしたりしますか？」という問いかけで意見交換をしていただきました。そばで聞いていると、さすが、みなさんは社会経験の豊富な方々です。災害の経験やその時の教訓、ふだん町の役員をしていて感じることなど、本当に活発にお話をしていってらっしゃいました。

最後の共有は、(コロナ禍でもリアル対面で行わせてくださったので)付箋紙を貼った紙を2グループ毎に交換して読む、ということにしました。すると、2番目の問の方が大事だね！と、グループ内で協力しあって読んでくださっていました。初めて会った方々も多いはずなのに、すっかり「チーム」になっていました。

きっと、町の役をしていらっしゃる方々なので、コミュニケーション能力が高いのですね。これなら、防災は安心。ちょっと防災に気持ちが向けば、積極的に行動してくださることが伝わってきました。



### ☆話し合っておくことが大切

ふだんから、いざという時を想定して話し合っておくことが大切だということを改めて感じた講演会でした。ここに集まったみなさんが協力しあったら、いざという時、どんなに心強いことでしょう！そんな場を共有できて、とても光栄でした。

\*担当の課長さんと、参加された方の中に以前お世話になった方がいらっしゃいました。お声掛けくださって、本当にうれしかったです。まちづくりに関わり始めて20年以上。長くやっている、こんなにうれしいことも出てくるのだな♫と思いました。新しい出会いと繰り返す出会い。ご縁とは心が躍るものなのです。